



松尾台幼稚園の子どもたち

特集 P2 私にとってのいながわぐらし。

TOPICS P7 いながわ桜まつり出店団体を募集します！、い～な！猪名川町♪最大 20%戻ってくるキャンペーン
P8 謹賀新年 新春のご挨拶

P6 ぶらりいながわ **NEW**
丘の上のカフェそらりお

P18 あつまれ！いなっ子 **NEW**
P20 みんなで手話 **NEW**

P22 特派員報告
妊婦さんとママの憩いの場
いなすくサロン

P24 瞬トキメキ
山本 彩夏さん



安田 菜美さん・典幸さんご家族
 (子左から) 陸洋さん・ほうよさん・湧雲さん
 平成26年、自然と共生できる場所を求めて木津東山地区に移住。和太鼓デュオ「黒拍子」祝丸・菜美として、夫婦で日本の古典芸能や「和」の持つ魅力を伝えるべく活動。国内・海外での演奏や大河ドラマへの楽曲提供など幅広く活躍。

自然と生きる「和」の感性で子育て

私たち夫婦は、和太鼓を中心とした演奏活動に全国を飛び回っています。子育てをするようになったのを機に、自然豊かで、かつ仕事柄、大阪・神戸・京都などに行きやすい所を探していました。そんな時に猪名川町を訪れ、希望条件に一致する都会に近い田舎「トカイナカ」という言葉がぴたりなここがとても気に入りました。

自然と共生していくことで、自分自身の感性を研ぎ澄ますことができ、私たちが表現する音楽に強く結びつきます。子どもたちにも、自然ののどかさや厳しさなどから感受性を磨き、成長して欲しいです。

木津東山地区は、移住者の受け入れも温かく、「地域みんなで子どもを育てる」気持ちが根付いています。私たち家族も近所のみなさんに助けていただき、本当に移住して良かったと思います。ここでの「人と人のつながり」は、大きな財産です。



高橋 宏幸さん・桃子さん
 ご夫婦
 令和3年6月に柏原地区に移住。夢の古民家での動物王国のような暮らしを求めて猪名川町へ。景勝、立地、近所との距離感などが気に入り、転入を決意。犬やヤギ、鳥たちなどたくさんの動物に囲まれながら田舎暮らしを楽しむ。

私たちにとっての「便利な暮らし」

私たちは、自然豊かで田んぼがあるところを求めて、大阪府交野市から移住してきました。近畿圏内の古民家を探し回るも、なかなか条件が合わず…。あきらめかけていた時に、ここ猪名川町と出会えました。

古民家に引っ越してきた時にご近所さんが「家は人の温もりがないと死んでしまうんや。あの家には、誰かに住んで欲しかった。死んでた家が、生き返ったわ!」と、喜んでくださったことが印象的で、とても嬉しい気持ちになりました。このまちには、穏やかで温かい人が多く、あれこれ言わない。けど、気にかけてくれる…。おかげさまで、毎日楽しく暮らせています。

ここでの生活は、畑で野菜が採れたり、生き物たちが生き生きと暮らすことができるなど、自分たちの好きなことが思いっきりできる、私たちにとっての「便利な暮らし」ができる場所だと思っています。



私にとっての 特集 いながわぐらし。

あなたにとって「夢の暮らし」とは？今号では、猪名川町に移住などをして、自分らしく魅力ある「いながわぐらし」を楽しむ人たちを紹介いたします。

▽問合せ 企画政策課
 (☎7666・8711)

様々な価値観

「コロナ禍により人との距離感などが変化してきている現在。「都市部に近い、豊かな自然環境」に対する価値が見直されてきており、猪名川町への興味や関心にも高まりが見られます。

お気に入りのまちで「新たな挑戦をしてみたい」、「休日にくつろいだりとした時間や趣味を楽しみたい」、「何気ない日々の生活を大切にしてみたい」と、一人ひとりの描く理想の生活は様々です。

猪名川町の移住相談窓口

夢の暮らしに向け、「どこに住む」、「どうやって暮らす」ということは大切なテーマのひとつです。町では、令和3年度より企画政策課を移住相談窓口として、移住先を探して来られる方からの相談を受けています。

「まずは『猪名川町』や『いながわぐらし』に興味を持ってもらいたい」との思いで、情報発信をしています。



前田 敦子さん・茂基さん
ご夫婦

令和4年、大野山麓の西畑地区で新たにカフェをオープン。猪名川町の和やかな空気の中で、のんびりと過ごして欲しいとの思いから「のんびり家」と命名。

定年退職後、夢のカフェに挑戦

私たち夫婦は、定年退職を機に昔からの夢だった「カフェ」をしたいとの思いで物件を探していました。そんな時、町内に住む友だちから「猪名川町はいいところだよ」と紹介されたことがきっかけでした。

山の麓で空気も良く、素敵だなと感じたこの場所で、夢の実現に向け挑戦したいと思いここに決めました。「市街化調整区域にあたる地区では、簡単にお店はできないよ」という話もあったのですが、県や町役場の方に何度も相談に乗っていただき、ついに念願の許可がおりました。

実際に始めてみると思うようにいかないこともあります。地域の人や多くの人に支えられながら楽しく過ごさせています。

「ここにのんびり家があって良かった」と思ってもらえる日が来るように、地域の人や観光に訪れる人、子育て中のママさんたちが集える場所にしていきたいです。



未来につながる有機農業への挑戦

私たち家族は、子どもが小学生になるタイミングで神戸から実家のある猪名川町に引っ越してきました。町内には元気で健康な方が多く、人の雰囲気も神戸と全然違うと感じています。ここは空気が良く、住む環境がいいのはもちろん、新鮮な野菜などの食べ物も影響しているのかなと考えたりもしました。

農業を始めるにあたって、「子どもたちのためにもこだわった農産物を作りたい」との思いがあったことから、有機農業（農薬を使用しない農業）へ挑戦を続けています。そして、つい先日「有機 JAS 認証（農林水産省）」を取得することができました。今後は、有機農産物・有機 JAS を少しずつでも町内に広げていきたいです。

また、学校給食への野菜の提供も目指していて、私の育てた野菜で子どもたちの元気のお手伝いができれば嬉しく思います。



喜多 優次さん

平成30年、実家の農業を継ぐため、神戸市からUターン。猪名川町産の木材を使用した木造住宅を建築し、自然のぬくもりを感じながら農業を中心とした都会にはない生活を楽しむ。



企画政策課
橋本 典幸 主幹

「選ばれるまち・いながわ」を目指して
まちの元気をつくるには、住民の皆さんが自分らしく生き生きと暮らせることが大切です。今号でご紹介した皆さんは、心から「いながわぐらし」を楽しんでおられます。
暮らしを楽しむ価値観の変化や全国的な地方移住の流れなどもあり、都市近郊で自然豊かな猪名川町への移住相談は年々増加しています。私は、移住定住担当として、窓口ではもちろん、オンラインも含め、数々の相談をお受けしています。希望の条件や思いを描くライフスタイルは様々ですが、移住希望者の理想の暮らしと猪名川町をどうマッチングさせるかを心がけて提案しています。
そんな中、最も多い相談は、田舎暮らしをしたくて、古民家や農村域内の家を探しているというものです。本町では、空き家の活用を促進するた

ニュータウンからでも自然を満喫



私は、猪名川町に引っ越してきてから娘が生まれ、子育てをする中で、このまちの豊かな自然や体験などを心に覚えていて欲しいと思うようになりました。

周りのお母さんたちと「子どもとどこで遊んでいいかわからない」と悩んでいた時に、自然体験などで遊べる場所が多いことに気付いたのです。今では、友だちと一緒に農園を借りて、子どもと野菜作りにも挑戦しています。

私は、数ある自然の中でも大野山が大好きで、もっとみんなが楽しめる場所にしたいとの思いからキャンプ場の管理人をやってみようと思いました。

猪名川町は、ニュータウンに住んでいても色々なことに挑戦ができます。その環境を子どもたちへ残していきながら、日々の暮らしを楽しみ、今よりもっと良いまちにするお手伝いができれば嬉しいです。



野間 久美子さん
(娘) 琴華さん

平成19年につつじが丘地区へ転入。大野山キャンプ場に管理人として携わることや南田原地区で野菜作りに挑戦、町内の人と人をつなぐ活動などにも取り組む。



空き家バンク制度へ登録を！

住まなくなった家屋は、老朽化が進み、近隣住民の生活環境に影響を与えることもあります。空き家を有効活用できる可能性もありますので、ぜひ空き家バンク制度に登録してください。



空き家に関する相談は、都市政策課まで
(☎ 766 - 8704)



めに「空き家バンク制度」を設けていますが登録物件は多くありません。もしも、皆さんが住まなくなった家屋に新しい人が住み、「夢の暮らし」を満喫してもらえたら、素晴らしいと思いませんか？そのような物件があれば、気軽にお声かけください。
また、移住を検討しているお知り合いの方にも、ぜひ「いながわぐらし」をおすすめいただければ嬉しく思います。